



日本母体救命システム 普及協議会



J-CIMELS

Japan Council for Implementation of Maternal
Emergency Life-Saving System (J-CIMELS)



日本母体救命システム普及協議会 設立の背景と目的

- (背景) 2010年以降取り組んできた妊産婦死亡報告事業の結果を踏まえ、わが国の妊産婦死亡の一段の減少を目指すには、産婦人科医師のみでなく、救急医、麻酔科医、コメディカル等との協働及びその実践教育が重要であるとの認識に至った。
- (目的) 妊産婦死亡の更なる減少を目指すため、あらゆる職種の周産期医療関係者に標準的な母体救命法を普及させると共に、効果的な母体救命医療システムの開発とその実践を促進すること、及びこれによる妊産婦への質の高い医療の提供と周産期医療の向上を通じて社会の福祉に貢献することを目的に協議会を設立した。

日本母体救命システム普及協議会 設立に協力した団体

- ◆日本産婦人科医会
- ◆日本産科婦人科学会
- ◆日本周産期・新生児医学会
- ◆日本麻酔科学会
- ◆日本臨床救急医学会
- ◆京都産婦人科救急診療研究会
- ◆妊産婦死亡検討評価委員会

日本母体救命システム普及協議会 取り組む事業の内容

本協議会は、その目的達成のために、母体救命システムに関わる次の事業を行う。

1. 母体救命システムの研究・開発、調査・検証、及び実践の支援
2. 母体救命システムの普及のための講習会・研修会の企画と実施
3. 母体救命インストラクターの養成と認定
4. 母体救命講習会受講者の講習修了認定
5. その他本事業遂行に必要な業務

